

いきいきとした 町づくりを めざして



## 夢いっぱい 統合して初めての入学式 (4月9日・横瀬小学校)

- 3月議会で決まったこと……………P 2～5
- 臨時議会・議長あいさつ……………P 5
- 委員会の活動報告……………P 6～7
- 一般質問12議員が登壇……………P 8～19
- おじゃまします・議会のうごき……………P 20

# 予算決まる!!

500万円  
800万円



あわせて

(簡易水道、住宅新築資金)



年々厳しくなる病院経営

## 病院事業特別会計

【業務の予定量】= 1日平均患者数  
入院患者60人 外来患者180人

【収入の予定額】= 9億500万円

その主なもの

- ・医業収益 8億500万円
- ・一般会計からの繰入金など 5千500万円

【支出の予定額】= 9億500万円

その主なもの

- ・医業費用 8億5千900万円
- ・企業債利息など 3千900万円

平成十一年度の予算を審議する三月定例議会は、三月九日から三十日までの十二日間、開かれました。  
平成十一年度の重点施策について、予算書にもとづき活発な論議が展開されました。  
また、議員から提出された議員定数条例の改正案や、同和団体助成金に対する修正案についても、討論を含め論戦がくり広げられました。  
一般質問には、十二議員が登壇し、行政の姿勢をただしました。

三月定例議会  
六十億一千三百万円でスタート



せせらぎ橋の開通で農村総合整備事業も完了  
(着工平成4年 総事業費5億620万円)

# 平成11年度

**一般会計 40億**  
**特別会計 20億**

(国民健康保健、老人保健、集落排水、)

## どう使う一般会計

<b>総務費</b>  <b>125,071円</b> (117,488円)	<b>民生費</b>  <b>100,925円</b> (86,880円)	<b>衛生費</b>  <b>28,006円</b> (30,418円)	<b>農林水産費</b>  <b>49,975円</b> (64,542円)
<b>土木費</b>  <b>77,521円</b> (76,801円)	<b>消防費</b>  <b>5,487円</b> (9,960円)	<b>教育費</b>  <b>43,978円</b> (50,093円)	<b>災害復旧費</b>  <b>9,083円</b> (7,823円)
<b>議会費</b>  <b>10,008円</b> (9,909円)	<b>商工費</b>  <b>2,148円</b> (1,867円)	<b>公債費</b>  <b>110,404円</b> (106,223円)	<b>予備費</b>  <b>2,115円</b> (2,088円)

一人あたりの予算は

( )内は前年度

### 老人福祉費

### 地域交流スペース事業関係に六千七百六十万円余

地域交流スペース事業は、介護保険実施において認定からまれる人の生きがい対策のための事業。

デイサービスセンターと特別養護老人ホーム、ショートステイ増床など総事業費一億七千六百

万円、六千七百六十万円は、その用地費、用地造成費、補助金である。

現在の特別養護老人ホームの西側に社会福祉法人勝寿会が建設、運営する。完成は平成十二年三月の予定。

# 厳しい予算に厳しい質疑

三月定例議会において、三十七議案に対する質疑が行われました。その一部を紹介します。

**問** 十一年度の財政運営と義務的経費の状況は。

**答** 予算総額は前年対比一・二%減である。特に地方交付税が実質マイナスとなり更に厳しくなっている。予算の中で義務的経費は全体の五十三%を占めている。経費節減については前年対比で、旅費十四・六%、食糧費十・四%の減額を行った。

**問** 黒岩地区の区長問題と十一年度の予算の関係は。

**答** 懸案であった区長問題は、両団体で鋭意ご協議をいただき一本化が図られた。十一年度は昨年より一人減の十六人で予算化をした。

**問** 住宅マスタープラン事業として山西地区をモデル地区と指定し、調査中であるが、造成工事や、周辺整備など諸経費がかなり必要と思われる。計画変更をも念頭におくべきでないか。

**答** 工事を実施するかどうかは議会とも十分協議をしなければならぬと思っている。

**問** 教育の充実は大変重要だと思いが、教育費は前年対比減額になっている。なぜか。

**答** 教育費は坂本小学校が統合したため減額になっているが、学校数が一校減ったので実質的には増額である。

## 同和団体助成金削減の修正案を否決

### 修正案の提案

中西・原田議員

「徳島県町村会は、町議会と町長からの同和団体助成金見直し・削減の要望書を半ば無視し十分審議しない。同和団体助成金二百七十三万八千円を削減し、小中学校の需要費に回すべきだ。」

### 賛成討論

井出議員

「同和団体幹部がからんだ事件まで起こし、同和問題の解決に逆効果をもたらしている。町民の税金をこのような団体に支出することは許されない。」

### 反対討論

溝田・国清  
神原・西浜議員

「趣旨は理解できるが徳島市での事件など、一事一件をもって判断すべきでない。他町村と足並みをそろえていくべきだ。」

### 採決

賛成三人、反対十人で修正案は否決され、原案が賛成多数で可決されました。

### 悪臭公害についての陳情を採択

よい環境を守る会（代表 山本美芳氏）から提出されていた「悪臭公害に対する行政指導を求める陳情」について、厚生常任委員会からの採択の報告を受け、全員一致で採択と決定しました。

### 地方分権の実現に関する意見書

地方分権の推進に伴い、地方議会の活性化は不可欠である。そのために、①議会の自主性強化 ②議会の議決権の拡大 ③議員の政策立案・審議能力向上のための措置を求めるもの。

全員一致で可決し、国へ送付しました。



中山渡羅尾線復旧工事（地すべり）  
1億1千288万円

# 議員定数を十四名に削減

議員定数を現行の十六名から十四名に削減する条例改正案が提出されました。

りの議論であり、選挙直前の削減は慎重さを欠いている。」

## 提案説明

溝田議員

「行財政改革の推進は避けて通れない。身を切り血を流すことを率先してやってみてほしい。」

## 反対討論

井出・中西議員

「すでに県下で先駆けて削減してきており、町民の声を反映させるといふ大事な役割を弱めるものだ。一ヵ月余

## 賛成討論

西浜・山田議員

「民意の反映に影響はない。各種の選挙で無投票が続いており、この際、削減すべきだ。」

## 採決

記名投票の結果、賛成九人、反対三人、無効一人で可決されました。

※六月の町議会議員選挙から適用されます。

## 新たな町づくり 目指して



議長 押栗義雄

私たちの任期もあとわずかとなり、六月末には改選期を迎えることになりました。

地方分権や行財政改革、さらに、少子高齢化等の厳しい動向は、勝浦町も例外ではありません。私たち議会としても、愛町の精神を基本とし、町民皆様のご意見やご提言をいただきながら、積極的に取り組んでまいりました。農業の町としての所得の向上対策をはじめ山積する課題に対して、勝浦町の恵まれた自然環境を生かし、すばらしい町民パワーを新たな町づくりの中に生かせないかと議論を重ねております。

より開かれた議会を目指してスタートした議会だよりも、七回目の発行となりました。皆様からは様々なご感想も寄せられ、町民と議会を結ぶ大事なパイプ役に発展してきました。

残された任期中、町政発展のために一層の努力を重ねてまいりたいと考えておりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

## 第二回臨時議会

### 水銀などの重金属対策に

七千八百八十万円

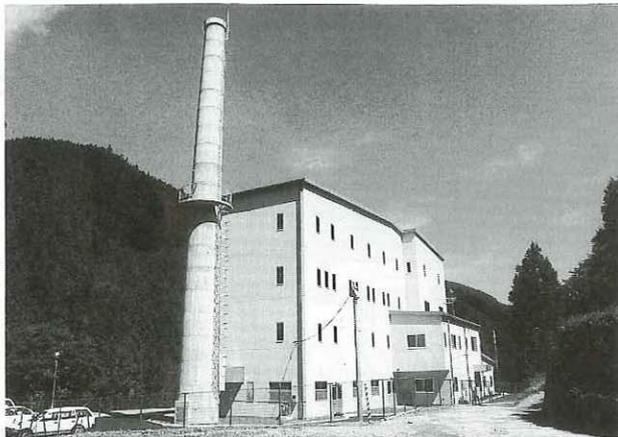
二月二十四日、第二回臨時議会が開かれ、理事者から、クリーンセンター施設の改善費七千八百八十万円が提案されました。

これは、飛灰に含まれる水銀、ヒ素などの重金属を固形化し、安全な形に処理するためのもの。

### 財源の内訳

普通交付税	二百二十五万円
国補助金	千五百七十三万円
町債	五千四百八十万円

議員からは、「工法や価格についての検討を十分行なって実施してほしい」などの意見が出され、全員一致で可決されました。



施設改善されるクリーンセンター

## 〔徳島県町村議会議長会表彰〕



原田昭三 議員  
勤続11年以上



節源一 議員  
勤続11年以上



押栗義雄 議員  
勤続15年以上



西浜勝己 議員  
勤続30年以上

## 四氏が 自治功労者表彰

# 総務

## 農業振興に思いきった予算

三月四日、委員会を開催し総務課、企画財政課、税務課、教育委員会、給食センターから三月議会に提出する平成十一年度予算の説明がありました。

### 審議の主な内容

**問** 予算の全体像をどのように考えているか。

**答** 財政再建を第一にしたが、所得の向上につながる施策として、農業振興には思いきった予算をつけた。

**問** 坂本小学校の敷地は、坂本区から借りているが、廃校後の借地料などはどうするのか。

**答** 建物は残っているため、教育委員会が管理し、跡地利用が決まるまで借地料は今まで通り、年三十四万円を支払う。

### 各学校へのコンピュータ、インターネットの導入

「当初予算に計上するには詰めができていない。小学生にどのように指導するかなど、調査、研究の上補正対応し、できれば夏休みに工事ができるようにしたい」と理事者が説明。



コンピュータの授業（勝浦中学校）  
やがてインターネットも

**問** 各学校にコンピュータ指導ができる教師はいるのか。  
**答** 各校に一人はいる。

その他、住民数五十人以上という条件がクリアできず、立川地区が、辺地総合整備計画から外されたという報告がありました。

## 活動報告

察をしました。

後日全員協議会で、和解案の内容は受け入れられないので、裁判にゆだねることにになりました。

## 厚生

二月十二日、三月一日、三月三日、委員会を開き、環境課から臨時議会に提出する「クリーンセンター施設改善」に関する補正予算、関係各課から三月議会に提案する十一年度当初予算などの説明がありました。

### 玉の木町営住宅 明け渡し訴訟

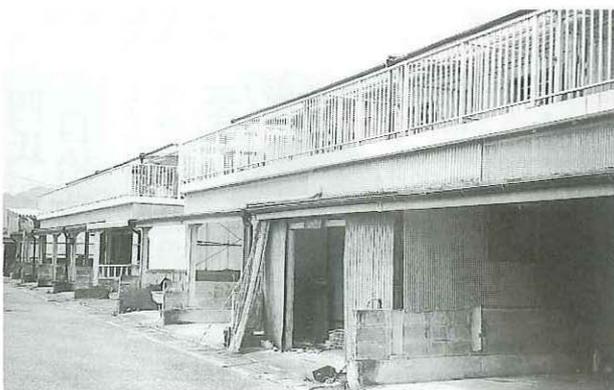
相手方から和解案が出されていると説明があり、委員から◆和解案は滞納家賃の支払いだけしか認めておらず、不正入居に対する違約金支払いの意志がない。  
◆訴訟は議会決議されているので、全員協議会に諮るようになど、意見が出されました。

## 町営住宅不正入居 裁判に

### 農業集落排水事業

一般会計から千四百万円の繰り入れを行うことに関して、委員から

◆現在の供用率は五十六％であるが、宅内工事が難しいなど供用に問題のある人が残っているので、八十一％の採算ラインに乗せるには、なお一層の努力をしてほしい。このままでは繰入れ額が、一億円に達する恐れもある。などの意見が出されました。



明け渡し裁判中で取り壊しのできない玉の木町営住宅

# 産業建設

三月五日、委員会を開き、関係課から三月定例議会に提出する議案等の説明を受け、審議を行いました。



四国発酵微研が使用している勝浦町堆肥施設

## 土づくり用堆肥に

### 補助金

**問** 町単独補助事業の実施主体がJAとなつていくものが多いが、農協合併により手続き等で問題は起こらないか。

**答** 合併により手続きが複雑にならないよう気を配っていきたい。

**問** 農業振興対策の目玉が見えにくい。

**答** 電源地域産業育成支援事業により地域農業の調査等を実施し、今後の農業振興策としたい。

### 土づくり用堆肥に町単補助

**問** 四国発酵微研で生産された堆肥使用だけに補助をするというが、町内で製造、販売される他の堆肥も同じ扱いにすべきだ。

**答** 四国発酵微研は、町の施設利用により製造しているので、ご理解を願いたい。

**問** 今山橋関連の工事は順調に進んでいるか。

**答** 今山中央線の取り合い部分について請負契約を結びたい。橋本体については、十一年度に橋脚一基の建設を予定している。

## 委員会の

審査・調査・視

### 視察報告

## 酪農郷を売り物に

岩手県葛巻町のグリーンツーリズム

専務理事の中村哲雄さんのさん新たな発想と行動力により急速に業績を伸ばしている。当日も大勢の小中学生の団体が訪れ、大にぎわいであった。「グリーンツーリズムの定着にはポリシーとメッセージが重要」と強調されたのが特に印象的であった。

東北一の畜産物産地を自負する葛巻町。都市生活者が農山村に滞在し、その自然や文化を体験、交流を深めることを目的に、第三セクター「畜産開発公社」を二十三年前に設立。その後、新規事業を着々と展開し、現在では畜産のほか、精肉販売、レストラン経営、マツタケ、シイタケの販売など、第三セクターとしてはユニークな経営で全国的にも数少ない成功例である。

総面積千百ha、十年度売り上げ九億四千万円、従業員は十五歳〜七十歳まで九十人。

事業の一つに、小中学生や高校生、家族連れなどが対象の牧場学習コース、大学生や農業団体を対象にした専門家コースなど、利用者に合わせてコースを設定している。

体験学習のための宿泊施設や乳製品加工場等も開設し、独自ブランドの牛乳、アイスクリームも製造。



ふれあい交流施設の一部

## 広域行政を積極的に

森 敏治 議員



**問** 川口町長 総事業費約三十三億円余りを投じ、平成十二年三月末完成をめどに、順調に進んでいる。

現在の進捗率は八十%で、庭木、芝などの植栽、舗装、旧施設の取りこわしが残っているが、年内に試運転の計画である。

**問** 火葬場問題への対応は。

**答** 川口町長 今後も広域的観点で協力が願えるよう努力したい。

**問** 消防防災体制はどうか。

**答** 川口町長 上勝町は広域化しないとの結論を出している。

小松島市、県とも協議、さらに先進地も視察してきたが、財政上の問題も多く、あらゆる角度から検討したい。

**問** 介護保険制度の問題とその取り組みは。

**答** 川口町長 平成十年度の機構改革で、その受け入れ体制を整えている。認定審査については上勝町、佐那河内村と本町で広域的に取り組んでいる。

## 坂小の跡地 利用に不安

**問** 現在まとまっている施設案や、町の取り組み姿勢について住民には不安があるか。

**答** 川口町長 新年度から庁内でプロジェクトチームを作り、新しい事業に乗せ

られないか、県とも協議している。

早い機会に案として出した。必要であれば補正も組む。

**問** 南海産業の倒産をどう受けとめているか。

**答** 川口町長 重く受け止めている。

関係者からの要望があれば、融資制度の活用など支援を考えていきたい。

## 県道徳島―上那賀線の改良

**問** 柳原バス停付近の改良は、現時点でどう考えているか。

**答** 川口町長 今山橋との関係もあるので抜本的に検討し、平成十一年度末までに、一つの方線を見い出したい。

**問** 坂本旧道の改良は。

**答** 川口町長 県、町の財政事情もあり、今後県とも協議しながら取り組む。

しかし、現状としては非常に難しい。

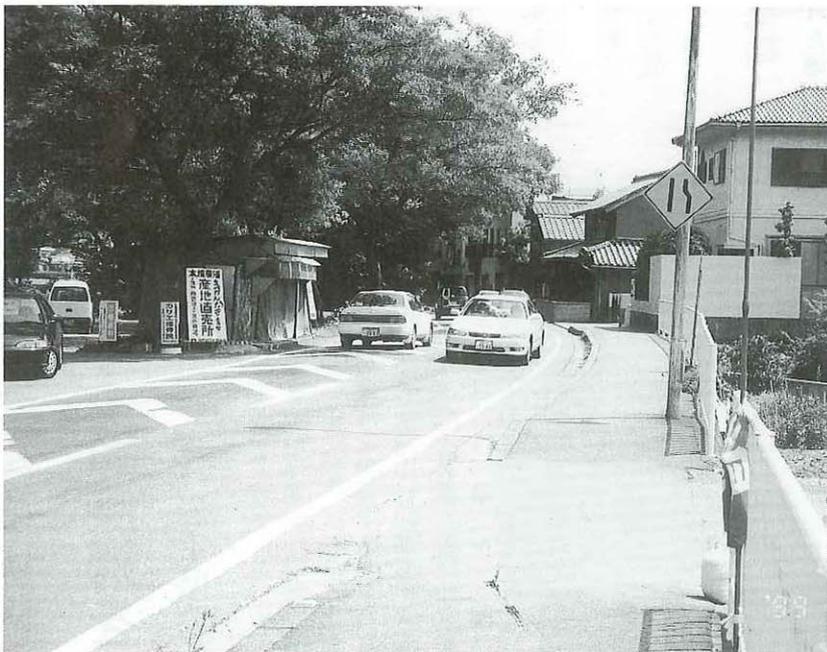
**問** 新しいトンネル構想は。

**答** 川口町長 神山町から石井町へは、すでにトンネルが完通しており、佐那河内村から神山町へはできるようなっている。

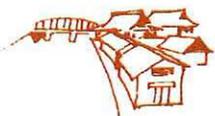
勝浦町は三市に隣接しながら、川添いのくねくね道で市街地に遠い。直線のトンネルで結ばれることを夢に終わらせてはいけないと思う。努力する。

**問** し尿処理施設の状況は。

**答** 川口町長 ごみ焼却施設は、大型化（日量百t）の方向であり、小松島市を中心に上勝、佐那河内、神山、石井の各市町村助役、担当課長等の会議はもった。トップ会議では今後十分話し合いたい。



11年度中に方線決定したい柳原地区県道



## 西岡・田中線道路の早期改良を

福徳重二 議員



**今山橋完成は  
平成十二年度で  
変わりないか**

**問** 今山橋の完成予想年度について、昨年の六月議会では平成十四年度、また、十二月議会では平成十二年度、今議会においては平成十二年度では厳しいとの答弁。短い間に二転三転するのはおかしいのではないか。

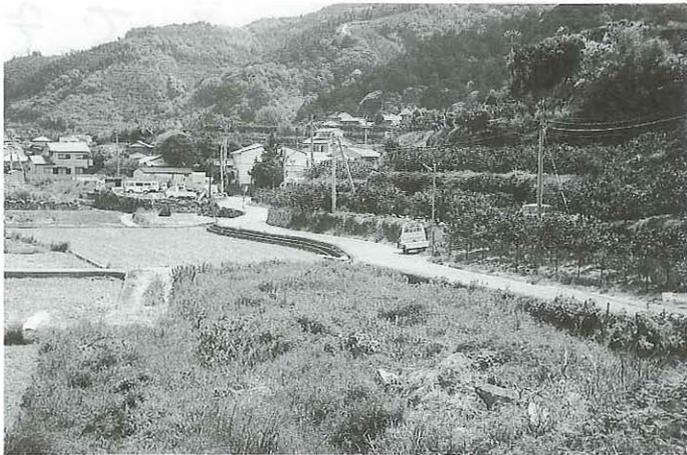
**答** 川口町長 今年は、国の予算が少なかつたことが、何とか十二年度完成をめざしたい。

**学校給食用食器を  
とり替えては  
早期にとり替えたい**  
(西野給食センター所長)

**問** 学校給食用に使用している食器からは特殊な湧出物により身体に悪い影響を及ぼす恐れがあると、マスコミ報道されている。厚生省、文部省からは決定的な指導はないが、とり替えのための調査はしたか。今後、どのような措置をするのか。

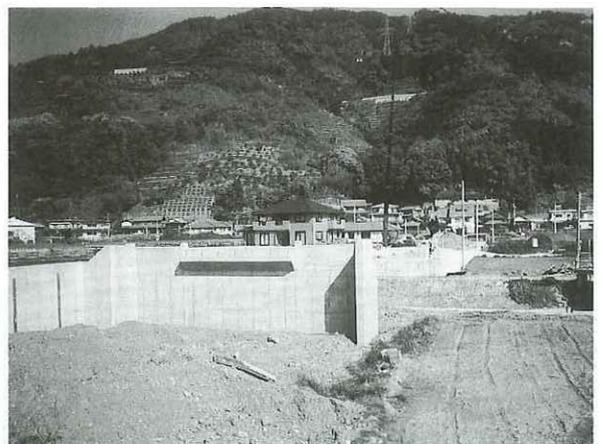
**問** 再三、町長、助役に言うてきたが、西岡、掛谷地域の県道から南側の遊水地帯、県道・柳原地区は、何ひとつ解決していない。努力しなかったのではないか。時代に即した道路改良をすべきである。町民の生命と財産を守り公平な町政をめざす町長として先頭に立って「必ずやります」と答えてほしい。

**答** 川口町長 国、県の事業で周辺土地すべてを対象に、西岡・田中線道路のかさ上げ改良とほ場整備、徳島一上那賀線柳原地域の方線、道路かさ上げ改良、拡幅等すべてを考え合わせて方針を決定したい。



早期改良が望まれる町道西岡・田中線

**答** 西野給食センター所長 いろんな調査の結果、現在のポリカーボネイトから害のないといわれるポリプロピレンにとり替えを決定。その費用百六十万円の予算が通れば早急を実施する。



工事が進む今山中線(今山橋関連)

**町村合併  
必要か**

**問** 遅かれ早かれ地方分権と同時に町村合併が問われてくる。合併は必要と思うか。

**答** 川口町長 現在は、合併より本町をもっともつとよくしたいと思う。将来は必要と思う。

**問** 合併してよい面、悪い面は何か。また、合併に際して何をしなければならぬか。

**答** 川口町長 よい面として地域交流が拡がり、厳しい財政を改善できる。一方、行政サービスの低下はまぬがれないのではないか。また、住民の意識改革、財政基盤の見直しについての研究が必要である。

**問** どんな合併パターンを望むか。相手があることと本町の思い通りにならないと思うか。

**答** 川口町長 徳島市、小松島市を含めた大きな合併がよいのではないか。

**介護認定もれの  
解消を**

**問** 来年度から介護保険制度が実施される。デイサービスセンター、ショートステイの利用者で介護認定がもれた人の対応は。

**答** 光井福祉課長 介護認定からもれた人を対象に生きがいづくりの施設として、特養老人ホーム拡張四床、ショートステイ四床を含む鉄骨造り一階建て、延べ面積五百㎡の地域交流スペースを特別養護老人ホームに併設してデイサービスを行い対応したい。

平成の大改革にそなえて

### 職員研修はできているか

十二年度には予算をつけたい

(国清総務課長)

神原 忍 議員



**答** 川口町長 昨年は県の市町村課で一人の町職員が一年間研修してきた。

今年も機構改革などもあり、研修に出せていない。今後は各課が調整しあって、研修をうける体制にもつていきたい。

**答** 国清総務課長 新規採用職員や管理職員の研修は、毎年、自治研修センターに委託している。しかし、十年度は、特に県の主催する「地方分権・合併推進」を主題にした講演会、シンポジウムが相次いで開催された。

**問** 東京への一極集中体制のなかで、財政が限界に近づいた、だから中央集権から地方分権にしていくと言  
権限の委譲があれば、企画立案の能力などが要求されるだろうし、県からは市町村の合併案なども出されている。その複雑な行政事務を担当する職員に、研修するなど準備態勢はできているか。

平成の大改革と言われ、職員にとっても最重要課題なので、県の要請人員より多くの職員に参加してもらっている。十一年度には予算化できていないが、県で一年間受ける研修など、十二年度には計画したい。

### 介護保険は寝たきり

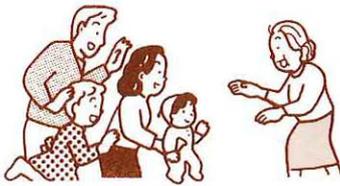
### 奨励にならないか

**問** 核家族が多くなり、独居老人も増えている現在、この保険制度は時代が求めているものかもしれない。

しかし、期待している人も多いが、中には不安感を持っている人もいます。例えば、寝たきりになると、月に三十万円余りの介護費が出る。寝たきりの人が増えはしないかという心配もある。

また、毎月保険料が必要になるから、無理して働きすぎ、命を縮めるのではないかと心配する人など様々である。

大きな掛金を集めての事業だから、運用が始まってからのつまづきがないよう、制度を練り上げて欲しい。  
来年四月の発足にむけて、仕組みや町の運営方法は十分検討されているか。



生きがい対策施設の現地説明会 H11. 5. 7

**答** 川口町長 内容は十分に検討して、準備には万全を期したい。また、認定審査から外れた人の憩いの場所、生きがい対策の場づくりを、本年度の緊急対策事業として取り組んでいる。

**答** 光井福祉課長 介護保険は、できる限り在宅生活が可能ないように、寝たきりにならないよう介護サービスをし、その自立を支援するのが目的の制度である。

もちろん、本人に現金が渡されるのではなく、介護のサービスが提供され、費用の一部は利用者負担となる。保険の仕組みを今後、町民に周知徹底していきたい。また、一号被保険者に該当する六十五歳以上の全ての町民の保険料は、本人の所得に応じて五ランクに区分される。最高で基準保険料の五割増し、最低で半額になる。

## 星谷運動公園

### 騒音と排ガス対策を

立て看板の設置を考えたい

(入田教育委員会事務局長)

国清 栄 議員



きないようにしたい。排ガス対策については、環境問題も考えて注意を促す立て看板の設置を行いたい。

**問**

運動公園は、町内外から多くの利用者があり、憩いの場としても定着している。

しかし、夜間の暴走による騒音、昼は大型車等のアイドリングによる排気ガスが問題である。

**答**

入田教育委員会事務局長 ローラースケート場での深夜暴走による騒音の被害を聞いている。四カ所ある入口を鎖で囲い車が侵入で



星谷運動公園駐車場

## 坂小跡地利用は

一〜二月の段階で新たな動き

(川口町長)

**問**

宿泊施設を基本とした地元要望の中で県との交渉を進めてきたが、今後、交渉窓口が変わる場合も想定されるのか。

**答**

川口町長 現在は、県企画調整部新長期計画推進室が窓口となっているが、今後は変わることになると考えられる。

**問**

方向づけのタイムリミットは。

**答**

川口町長 相手があることなので定期的な明示はできないが、早く結論が出せるよう県との交渉をしていきたい。

## 間伐林道

補修の計画は

**問**

昨年の二度の台風により間伐林道が荒れ、車の通行ができない状況である。特に、仏石と星の岩屋を結ぶ線は観光的な要素の強い林道である。

**答**

受益者の受け入れやすい補助事業は。石尾耕地課長 町内林道の総延長は二万五千mでその内、舗装済は一萬三千m、五十二%である。取り組みのしやすい事業としては、県単林道事業がよいのではないかと思う。受益者負担は三十八・五%である。

## 町村合併の考え方は

**問**

徳島新聞による県下町村長の合併に対するアンケートの中で検討しないと答えているが、なぜか。

**答**

川口町長 合併について、検討するか、しないかという二者択一のアンケートであったので、現段階ではしないという返事をした。



台風で荒れた間伐林道

**問**

町村合併問題は、地方分権の行方や広域行政への取り組み、また、町として大きな問題の新過疎法の動向等、複雑な要素がからみ合っている確かな方向性が見出しにくい状況下にある。

好む好まざるにかかわらず、行政改革検討委員会でも、将来に向けて対応策を検討しては。

**答**

滝花企画財政課長 合併問題については職員で組織する検討委員会でも、町内有識者による行政改革調査会等に対応してもらえらるがよいと思う。

交通安全

無事故対策の取り組みは

節 源 一 議員



県議会議員選挙もあり、五月十一日から二十日までとなった。町の対応策としては、交通安全対策協議会、交通安全推進協議会の開催や高齢者を対象とした交通安全教室を開くことを計画している。

犯罪の低年齢化に対する町の対応は

問 昨年の県下における凶悪犯罪は五十一件と一

昨年二十二件から急激に増加し、過去十年間で最多であった。また、毎年低年齢化する傾向だという。町の対応は。

答 国清総務課長 町内における刑法犯は、一昨

年の二十二件から昨年は六十九件と三倍に

増えている。ほとんどが窃

盗犯であり、

昨年の明石大

橋開通以後、

都市型犯罪が

発生する状況

となっている。

町の取り組み

みとしては、

広報かつうら

による啓発は

もとより、小

松島警察署、

駐在所や補導

員、民生委員

など各組織、

問 せせらぎ公園手前の町道二百二十mのうち約100mが、毎年四〜五回は冠水し通行ができなくなり、関係住民は大変不便をきたしている。新横瀬橋の開通で水の流

せせらぎ公園に通じる町道のかさ上げを



年間4〜5回冠水する前川地区の町道

答 秋本土木課長 対岸の柵野側の同意もさることながら、河川区域内ということ

で、河川課を無視した計画はできない。また、町単

での対応となると町道の予算枠

もあり、すぐ年次計画で対応

するとは答えられない。しか

し、横瀬地区の努力で対岸の

同意が得られるなら、現地をよく見た上で何かできる方法を模索してみたい。

問

昨年の県下における交通事故による死亡者は九十九人と一昨年より一人減っている。しかし、負傷者は年々

答

国清総務課長 昨年の町内における人身事故は二十七件、死亡事故はない

が一昨年より五件増加している。春の交通安全運動は毎年四月に行われていたが、今年は



毎年増えつつける交通事故

## 情報公開条例

### 制定の考えは

前向きに検討する（川口町長）

溝田義昭 議員



**問** 清潔でガラス張りの町政を公約した町長として、情報公開条例制定の考えはないか。

**答** 川口町長 県内では、徳島市、池田町、藍住町で制定している。今後、前向きに検討していく必要があると思っている。

## 十一年度予算

### 夢のある事業は

**問** 企画財政課が設置されて初めての予算編成だ

が、特に苦勞したことは

**答** 滝花企画財政課長 地方交付税の伸びが予想外に少なく、歳入の確保に悩み、財政健全化に向けた減債基金の積立てが当初段階ではできなくなった。旅費、食糧費については10%以上の削減ができた。

**問** 町の将来に夢の持てる事業は何か。

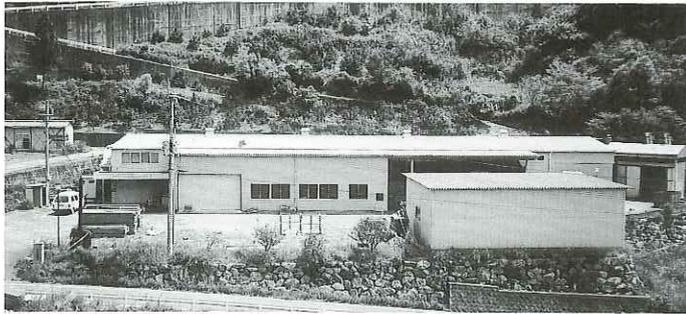
**答** 滝花企画財政課長 二十歳代から三十歳代の女性を対象に、講座で学びながらコミュニケーションの場を作り、将来の勝浦を支える人づくりを目指す「女性による町づくり事業」と、農業振興を図るための人材養成を中心に勝浦農業の受け皿づくりの「電源立地産業育成支援事業」である。将来、特産品の開発や、基幹産業としての農業からの雇用の創出などで、若者の定住増、I・Uターンの受け入れが進み、人口増と町の活性化につながればという期待と夢を持っている。

## 審議会等の委員

### 公募の考えは

**問** 審議会や協議会の委員は行政が選任し委嘱しているが、同じ人が複数の会の委員である場合がある。広く町民の意見や知恵を借りるため公募にしてはどうか。

**答** 国清総務課長 地方分権時代には住民参加や広く住民の意見を聞くことも大切だ。今までの考え方や制度も見直す必要がある。今後条例改正や選任基準等について、協議を進めていきたい。



良い方向が見いだせない閉鎖企業の跡地



整備、充実が望まれるせせらぎ公園

## せせらぎ公園の整備を充実を

**問** せせらぎ

橋の開通や町道前川堤防線の拡幅により、せせらぎ公園へ通じる道路も一部を残しなくなった。公園を整備、充実する考えは。

## 撤退企業の跡地と新企業誘致の対応は

**問** 町誘致企業のうち三社が昨年撤退したが、その跡地活用と新しい企業誘致についてはどのように対応しているのか。

**答** 戸川産業振興課長 県の産業振興課や東京、大阪の県事務所へも照会してあるが、今のところよい回答はない。道路事情や土地価格の面で非常に不利で厳しい状況である。

また、溪流を利用した自然型のつり堀を漁業組合などとタイアップして計画してはどうか。

**答** 戸川産業振興課長 場所的に非常に狭く、河川敷ということもあり、施設を造ることは非常に難しい。特に、現地の自然を町の人達は楽しんでくれていると思う。つり堀については、漁業組合など受け皿があれば支援していきたい。

## 十一年度当初予算案

### 総額四〇億五〇〇万円 合わせれば、シマツテGO

森 健 議員



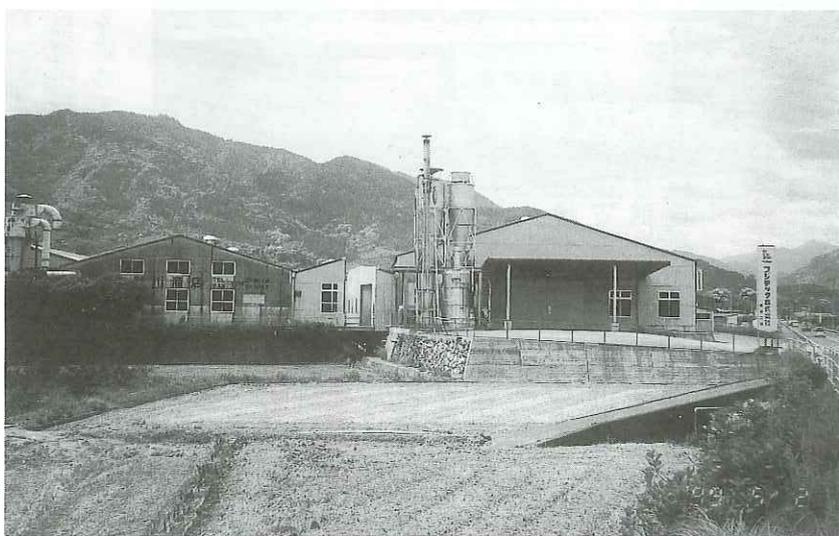
**問** 当初予算は向こう一年の収入とそれをいかに使うか、つまり町民に対して物品や財産や労働と形を変えていかに住民福祉の向上に役立つか、どれだけの行政効果、経済効果をもたらすか、税負担を財源としているだけに気になるところだ。財政窮迫の実態や原因を理解してもらうことは大変大切なことだと思う。歳入面はどうなっているか。

**答** 滝花企画財政課長 過去に町の力以上の事業投資をしたことが借金となり、毎年返さなければならぬので、財政圧迫となっている。地方交付税は都市部に奪われ、実質減額交付となっている。

**答** 倉橋税務課長 町税では微増だが、個人給与等に比べて法人では誘致企業の撤退、不況を反映してか減少傾向である。

**問** 予算総額が昨年、今年と少なくなっている中で、人件費や物件費、施設維持補修等は多くなるであろうし、公債費償還においても一般財源に占める割合が多くなれば、差額の住民サービスに向けられる予算にシワ寄せがくる。どのようにして確保するのか。

**答** 滝花企画財政課長 歳入の確保と、経費削減を徹底する。「行政が関わるべきこと」「望ましい住民サービスとは」など行革大綱の見直しによる行財政改革の断行に



誘致企業の撤退と不況で法人税は減収が

迫られている。住民所得の向上につながる諸条件を見極めたい。

**問** 健全財政の確立は、避けがたい勝浦町の命題の一つだが、生活基盤の整備やたちまちの住民ニーズに 대응するために町は借金に頼らざるを得ないのが実態であろう。この予算案では、町長の判断や指導性がどこにどのようにより発揮されたか。

**答** 滝花企画財政課長 第一に財政の健全化について、町職員はもとより住民にも理解をいただくこと、農業の振興を図り所得の向上と福祉の充実を、という指示があった。夢のあること、実現したい事業も持っているが、とりあえずは財政健全化を優先せざるを得ないのが実情である。

こうした中で町単事業や中角等のは場整備、介護保険準備に万全を期す指示があった。補助金とか交付金を出している団体、協議会等で一応その目的を達したもののや、達しなくとも減額可能なもの、時代にそぐわなくなつたものもあると思う。

**問** 団体数や金額はどれくらいになり、どう対処するのか。

**答** 滝花企画財政課長 総計で二百三十一団体、金額にして約二億六千万円ある。

行革答申により、行革大綱の見直しの際に検討していく。

### 地方分権時代の受け皿としての市町村合併について

**問** 「地方の時代」という耳ざわりのよい言葉の裏には、「意思決定と自己責任」が伴う時代を迎えようとしている。

多様化する住民ニーズにこたえるには勝浦町の自治体としての規模をどのように考えているか。

**答** 川口町長 あまり大きな規模とは思わないが、合併にはいろいろ問題もあり将来の課題としたい。

## 町長の所信表明と 五つの重要施策について

中西晴美 議員



### (一) 道路網と 交通体系の整備

**問** 県道の整備は。

**答** 川口町長 徳島ー上那賀線の二車線化と横瀬橋棚野側取り合い道路、沼江バイパス、新浜ー勝浦線等について、住民や県と協議して推進したい。

**問** 町道整備について受益者負担を増加し、事業促進と財政再建を同時にしているか。

**答** 川口町長 一つの方法であるが、検討したい。

### (二) 産業の振興について

**問** みかん産業振興に対する予算投入の効果を数字で示してほしい。

**答** 川口町長 価格の変動もあり、数字で表すことは困難である。長期的になり効果はあると思う。

### (三) 保健、福祉について

**問** 観光事業より財政再建が先であり、今はその時期ではないと思うが。

**答** 川口町長 その通りであるが、特別な補助等がある場合には取り組みたい。

**問** 観光事業より財政再建が先であり、今はその時期ではないと思うが。

**答** 川口町長 相当な効果が上がっていると思う。老後を安心して暮らせる町にしたい。

**問** 愛育班活動の成果は。

**答** 光井福祉課長 町内十五地区の女性を中心とした活動は、全国的にも有名で視察も多い。予防、早期発見、食事等町民の健康増進に大きく寄与している。

**問** 三歳未満の乳幼児の医療費は。

**答** 光井福祉課長 六十八万八千円である。

**問** 地域交流スペース事業、その後の状況は。

**答** 光井福祉課長 用地交渉も大体でき、県の内示も四、五月頃にある見込みだ。

### (四) 生活環境の整備と 安全な町づくりに ついて

**問** 焼却場設置後の修繕費は。

**答** 桂木環境課長 飛灰処理施設も含め三億四千万円である。

### (五) 教育と人づくりに ついて

**問** 二十歳代から三十歳代の女性を対象として、女性講座を開設し町の活性化を図りたいといっているが、議会軽視でないか。

**答** 川口町長 若い女性の意見を聞くのは、新しい試みである。議会の意見を尊重することはもち論である。

**問** 合併後の横瀬小学校の整備充実を図るとともに、統合による経費削減分七百万円を投入し、五十台収容の駐車場を設置すべきだ。

**答** 川口町長 緊急を要する問題については整備していく。駐車場は必要性を調査し、財政再建ともからめて対処したい。



10台余りの駐車スペースしかない横瀬小学校

環境ホルモンの疑いがある給食食器

## 早期取り替えを

ポリプロピレンに取り替える

(西野給食センター所長)

原田昭三 議員



ゆきとどいた教育のために三十人学級の実現を

ねばり強く要望する

(松浦教育長)

学級崩壊や不登校はないのか。

松浦教育長 学級崩壊はないが、不登校が中学校で二人ある。

三十人以上の児童生徒のいる学級数は。

入田教育委員会事務局 長 十一年度では、生

比奈小学校のすべての学級と、横瀬小学校では二年生と六年生、中学校では全学級である。

三十人学級実現へ努力を。

松浦教育長 国は、四十人から下げていくという方針であるが、いつになるかはわからない。県や国に

昨年六月議会において、ポリカーボネイトの給食食器からは環境ホルモンが溶けだしている可能性があるため、取り替えてはどうかと質問した。その後の経過は、早く取り替えるべきだ。

西野給食センター所長 昨年から調査研究をしてきたが、ポリプロピレン製の食器が一番いいのではないかと判断して決めた。早期に取り替えたい。



30人学級でゆきとどいた教育を(勝浦中学校)

対してねばり強く要望していきたい。

## 新規就農者に対する支援制度を

農業の担い手は非常に高齢化しているが、新規就農者の状況はどうか。

戸川産業振興課長 現在の農家は高齢者がほとんどであり、新規就農者はあまり見込めない状況だ。

「青年農業者育成事業」などの県単事業も活用しながら、新規就農者に対する支援制度を作るべきではないか。

戸川産業振興課長 新規就農者への基盤整備等の条件整備や低利融資事業などを活用すると共に、今後、支援策について検討していきたい。

## すだちの長期貯蔵の普及を

神山町や佐那河内村においては、三月まですだちの冷房貯蔵をして

いるが、勝浦町では年内出荷がほとんどである。長期貯蔵の方法を普及すべきでないか。

戸川産業振興課長 長期貯蔵は肥培管理や温度管理が重要であり、要望があれば講習会などで技術指導を行っていく。

## 同和学習会の終結について

同和行政を終わらせて一般行政へ移行しようとしている時であり、地区の子供だけを集めての同和学習会は、問題があるのではないか。

信政勝浦会館長 県の事業があるので、今は続けていきたい。

## 同和団体助成金について

十二月議会において川口町長は、「同和団体助成金の問題を懇話会に諮る」と答弁した。「懇話会で相談する問題ではない」という指摘にもかかわらず、また、同じ答弁を繰り返した。

ところが、その後開催された二回の懇話会でも、町長は一度も議題にしなかった。しかも、懇話会の資料では「助成金の問題は町村会で協議する」と書いてあった。あまりにも無責任な答弁ではなかったか。

川口町長 次の懇話会には必ず議題にのせる。町村会では、勝浦町と鴨島町からの同和団体助成金の見直し・削減の要請に対してどう扱っているか。

川口町長 町村会において、廃案にするとはいえ、継続にしてくれるよう要請した。これが私としての力の限度であった。

## 高齢者生きがい対策について

宮本久治 議員



権者とその周辺の関係者への説明会を開いた。国有財産についても境界設定を行っている。

**問** この事業に対する国の内示および完成の見通しは。

**答** 光井福祉課長 国の内示は本年四月～五月の

見通しである。地権者、地元関係者の了解をいただき、目変更などの手続き終了後、七月以降ぐらいいに着工し、平成十二年三月完成を目指している。

## 生名簡易水道事業について

**問** 平成十一年度事業の完了の見通しは。

**答** 桂木環境課長

平成十年度事業は順調に進んでいる。

平成十一年度は四月～五月上旬に内示の予定であり、予算等は事業の最終年度なので、全額付くものと確信している。

**問** この水道工事

は十一年度完成だが、管工事の距離も長い。工事遂行計画は。

**答** 桂木環境課長 平成十一年度は十路線の管工事で、距離は六千mであり、工事の継続に向けて作業を進めている。完成は平成十二年三月末を予定している。

**問** 工事関連の町道等の舗装に計上されているのか。

**答** 桂木環境課長 鶴林寺線の舗装については、工事が完了しているのので、時期を設定し十一年度に本舗装する。なお、他の支線舗装についても予算計上している。

## 新過疎法について

**問** 新過疎法制定に伴う本町の取り組みとその後の状況は。

**答** 川口町長 議会の陳情後、新たな動きはない。しかし、三月十八日～十九日に、県下五町の町長、議長の研修会が東京で開催されるとの連絡があったので、町の実情を十分説明し引き続き、新過疎法の指定が受けられるよう強力に働きかけていきたい。



新しい生名簡易水道水源池

地域交流スペース整備事業の予定地



**問** 特別養護老人ホームに隣接する施設である地域交流スペース整備事業の内容は。

**答** 光井福祉課長 特養拡張四床、ショートステイ四床を含む五百㎡を予定している。

**問** 土地面積並びに土地所有者や地元関係者等についての話し合いはどのようなか。

**答** 光井福祉課長 土地面積千五百五十九㎡、地権者二戸。一月十八日、地元議員、農業委員、水利、用水、特養などの関係者で説明会を開催した。一月二十五日、地

## 第三セクターによる

### 農業公社を設置してはどうか

検討する（川口町長）

井出幸夫議員



**答** 光井福祉課長 二千人のうち十%あまりの二百十人が、介護サービスの対象となるものと思われる。

**問** 現在のホームヘルプサービスの料金と比べて、介護保険による在宅サービスの利用料はどうなるのか。

**答** 光井福祉課長 現在、サービスを受けている

**問** 四十九人のうち、無料の人が三十九人であるが、介護保険になると最高で三万五千円の利用料があるようになる。

**答** 在宅サービスでは、紙

**問** おもつは介護保険の対象になっていない。安心して在宅介護をうけるために、現在、月五千円の介護手当を大幅に増額すべきでないか。他町村では月二万円を支給している例もある。

**答** 川口町長 実情をよく調べてみたい。

**問** 水田のファームサービ

**答** 倉橋税務課長 「国保を、各課と協議しながら実施したい。

**問** 木屋平村の歯科診療所のように、町内の歯科医の協力を得て寝たきりの人などの訪問診療を実施してはどうか。歯の治療によつて元

**答** 川口町長 実情を把握してみたい。

**問** 介護保険は、大多数の人にとつては掛け捨てになるといわれる。町では、六十五歳以上の人のうち何割が介護サービスを受けられるか。

**答** 川口町長 補助制度について前向きに検討したい。

**問** 今山橋へつながらる堤防上の町道は、北岸の人の通勤などで利用度が高い。拡幅できないか。

**答** 川口町長 補助制度について前向きに検討したい。

**問** 水田のファームサービ

**答** 倉橋税務課長 「国保を、各課と協議しながら実施したい。

**問** 木屋平村の歯科診療所のように、町内の歯科医の協力を得て寝たきりの人などの訪問診療を実施してはどうか。歯の治療によつて元

**答** 川口町長 実情を把握してみたい。

### ごみ処理広域化の協議は

協議は

**問** ダイオキシンの対策のため、焼却場新設については一日百t以上の規模でない補助対象にならない。ごみ処理広域化の協議の進行状況は。

**答** 早川助役 百t規模をクリアーするためには、人口十万人以下ではできない。小松島市と勝名町村において、焼却場の設置場所などの合意が最大の課題だ。

**問** 徳島県町村会は、同和団体助成金の見直しを

**答** 徳島県町村会は、同和団体助成金の見直しを

**問** 徳島県町村会は、同和団体助成金の見直しを

ておかなければならない理由は何か。

**答** 川口町長 地区の人の要望であり、国民的課題である。

**問** たった二人の課が、課と言えるのか。同和対策課は廃止すべきだ。

**答** 川口町長 今はまだ必要と考えている。

**答** 早川助役 行政改革の対象として検討されなければならぬ。

**問** 徳島県町村会は、同和団体助成金の見直しを

**答** 徳島県町村会は、同和団体助成金の見直しを

### 歯の訪問診療を 実施しては

**答** 川口町長 検討する。

**問** 水田のファームサービ

### 介護手当を増額 すべきだ

**答** 川口町長 実情を把握してみたい。

**問** 介護保険は、大多数の人にとつては掛け捨てになるといわれる。町では、六十五歳以上の人のうち何割が介護サービスを受けられるか。

**答** 川口町長 補助制度について前向きに検討したい。

### 堤防上の町道の 拡幅を

拡幅を

**問** 今山橋へつながらる堤防上の町道は、北岸の人の通勤などで利用度が高い。拡幅できないか。

**答** 川口町長 補助制度について前向きに検討したい。

**問** 今山橋へつながらる堤防上の町道は、北岸の人の通勤などで利用度が高い。拡幅できないか。

**答** 川口町長 補助制度について前向きに検討したい。



拡幅が特たれる今山堤防上の町道

## 当初予算

### 民意の反映は

#### 厳しい予算の中で 対応できることは反映した

(国清・滝花課長)

## 西浜勝己議員



### 問

この三月議会は四年に一度の議会改選を控えての予算編成だ。町長は十二月議会の答弁で、平成十年年度の成果と反省のうえにたつて抱負をのべられた。各課長はそれを念頭において当初予算を立案されたのかどうか。代表して総務、企画財政課長の見解は。

### 答

国清総務課長 一般質問等で提案、指摘された事項で対応できることは反映した。

### 答

滝花企画財政課長 厳しい財政事情で限られた予算のなかであり、十分配慮できていないところもあるがご理解願いたい。

### 問

財政が厳しいことは理解できるが、必要にもかかわらず予算が全く組まれていないところがある。どうするのか。

### 答

川口町長 必要な場合、補正予算等で対応していきたい。

## 所信表明・実現性は

### 一生懸命取り組み

(川口町長)

### 問

町長の所信表明の中で、重点施策が五項目ある。任期中に実現できそうにない事業は「行政の継続性にご理解を」と言われているが、所信表明とは気の遠くなるような先の話と住民は思っていない。早期実現にむけ全力で取り組みたい。

### 答

川口町長 一生懸命取り組みたい。

## 年齢層を広げよ

### 若い女性の参画に期待

(滝花企画財政課長)

### 問

女性による町づくり構想は二十代〜三十代の女性が対象者になっているが、町内の各種団体の女性リーダーは四十代以上の人が大きなウエイトをしめている。年齢層を広げては。

### 答

滝花企画財政課長 若者の定住化を促進する場合、若い女性の視点でこの町をどのように考えられているかを知る必要がある。もちろん四十代以上の人には今までどおりご協力いただきたいと思っている。

### 答

秋本土木課長 県との協議の結果、簡易運動場として使用できることになった。

### 問

横瀬橋周辺整備事業基金の残額は未解決部分に充当するため、他目的使用はすべきでない。見解は。

### 答

秋本土木課長 基金は残す。他目的使用は考えていない。

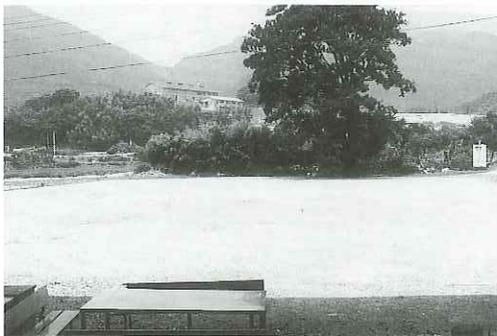
## 地域交流スペース事業 地元との 話し合いを急げ

### 議会終了後

(光井福祉課長)

### 問

地元にとって突然降って湧いたような地域交流



河川敷の簡易運動場

## 市町村合併問題

### 議会と相談する

(川口町長)

### 問

地方分権と同時に、交流の時代と併せて市町村合併論議が、マスコミ報道も含めて伝えられている昨今である。町長は新聞社によるアンケート調査の通り「検討しない」と判断してよいか。

### 答

川口町長 合併よりもまだまだ勝浦を生かす方法を考えなければならぬ。しかし将来は必要と思う。

### 問

合併はそんなに急ぐ必要はない。ただし、他市町村の動きに連動し、勝浦町の方向づけは考えなければならぬのではないか。

### 答

川口町長 判断しかねることもあり、よく住民の声を聞き議員の皆さんと相談をしたい。

# ライフ・ワークの充実を



## 英語教室の皆さん

初級々長 鴻本照代さん  
中級々長 丸関優子さん

— 活動内容は。

オヤ・ジョンソン先生の指導で初級二十五人、中級八人の二クラス編成で毎週水曜日の夜、福祉センターで開いています。

英語を習っている目的は人によってそれぞれ異なりますが、ミュージカル鑑賞や、パーティー、お花見などもとり入れ、相互の親睦をはかりながら、和気あいあいの中でやっています。

— 議会だよりの感想は。

議会審議の内容はよくわかりますが、それがどのように町政に生かされているか、その結果まで知りたいと思います。

— 町や議会に望むことは。

若い女性の集まりやすいカルチャー教室の開催や、町の人みんなの力を結集して手作りのイベントを行うなど、注目される町にしてほしい。

チャレンジ精神旺盛な人達の集まりだけに、積極的で明るいムードいっぱいでした。



来日中のカレンさんを囲んで和気あいあいの英語教室

## 編集後記

今年の流行語大賞は「だんご三兄弟」これで決まるのでは……。『だんご』この言葉自体、やわらかみと親しみが湧く。住民と行政、議会が一本の串でつながり活力ある町づくりをしたいと思います。

さて「議会だより」も今回で七号、ラッキーセブンになり、私達編集委員も一応の区切りとなります。

三月議会は、理事者に対する質疑とともに、議員定数削減とか、同和団体助成金問題など、議員同士においても、活発な議論が行われました。その内容をわかりやすく表現できればと思いましたが、どのように読んでいただけたでしょうか。(業)

## 議会のうごき

### 2 月

- 1日 議会広報調査特別委員会
- 2日 町村議会正副議長研修会
- 4日 議会広報調査特別委員会
- 8・9日 新過疎法定制陳情
- 12日 厚生常任委員会
- 13日 県・市町村同和対策推進議員連絡協議会  
議会広報調査特別委員会
- 17日 全員協議会
- 18日 徳島県町村議会議長会定期総会  
勝名地区町村議会議長定期総会
- 24日 平成11年第2回臨時議会、全員協議会

### 3 月

- 1日 厚生常任委員会
- 2日 東部広域農道整備促進特別委員会  
議会運営委員会
- 4日 総務常任委員会
- 6日 全員協議会
- 9日 3月定例議会開会、議会運営委員会
- 11日 専門学校卒業式、全員協議会
- 13日 勝浦中学校卒業式
- 15・16・17・19日 3月定例議会、一般質問
- 18日 各小学校卒業式
- 23・25・26日 3月定例議会
- 24日 坂本小学校・幼稚園閉校式
- 27日 南部農免農道起工式
- 29日 小松島市外2町総合隔離病舎事務組合  
議会定例会  
小松島市外3町村衛生組合議会定例会
- 30日 3月定例議会閉会
- 31日 土地開発公社理事会

### 4 月

- 4日 専門学校入学式
- 9日 議会広報調査特別委員会  
勝名地区町村議会議長会臨時議会  
各小・中学校入学式
- 13日 議会広報調査特別委員会
- 15日 戦没者慰霊祭、全員協議会
- 18日 横瀬前川線・せせらぎ橋竣工式
- 19日 議会広報調査特別委員会
- 22日 議会広報調査特別委員会
- 23日 東部広域農道整備促進特別委員会
- 26日 議会広報調査特別委員会
- 28日 議会広報調査特別委員会
- 30日 与川内大平谷農道竣工式